

令和7年度 愛媛大学地域共創研究センター まちなか大学 vol.5

1955 年 11 月 1 日に国定公園に指定された石鎚国定公園は、本年で指定 70 周年の節目を迎えました。同公園の主体をなす石鎚山系は西日本最高峰の石鎚山を主峰とする急峻な連峰が東西 50 km に広がる日本を代表する脊梁山脈のひとつです。石鎚山系の高標域は西日本でも稀有な亜寒帯林が広がり、その景観は自然保護上重要です。また、急峻な山並みと非日常的な景観は今も昔も多くの登山客や観光客を惹きつけています。そして、石鎚山系では往時から焼畑や林業が行われ、石鎚山が古くから山岳信仰の対象とされてきたように、石鎚山系周辺は人々の暮らしの場でもあります。今回のまちなか大学では石鎚国定公園指定 70 周年の節目に「石鎚山系のこれまでとこれから」と題して、石鎚山系の過去・現在・未来を多角的に考えます。森林、観光、居住という観点から 3 名の登壇者による講演とディスカッションを行い、これまでの石鎚山系の歩みを振り返るとともに、次世代へと繋がる魅力と課題について考えます。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

石鎚山系の これまでとこれからを考える

場所：愛媛大学 E.U. Regional Commons（ひめテラス）1 階
NP 地域交流ルーム／参加費無料

開催方法：対面 40 名（先着順）／WEB 同時配信（ZOOM）

申し込み方法：2025 年 11 月 13 日（木）※切 本チラシの二次元コード、
又は愛媛大学地域共創研究センター HP
（<https://rcrc.cri.ehime-u.ac.jp/>）の「まちなか大学 vol.5」
の告知ページよりお申込みください。

問い合わせ先：E-mail：rcrc_cri@stu.ehime-u.ac.jp
（地域共創研究センター）

Tel：089-927-8145

（地域協働支援部地域協働課）



申し込みはこちら

11/14
Fri 18:00 - 20:00



コーディネーター
地域共創研究センター
センター長
井口 梓 Azusa Iguchi



矢野真志
Shinji Yano

面河山岳博物館 学芸員
博物館現場で 25 年、展示や調査研究に携わる。これまでに企画した展示はカメムシや愛媛の哺乳類、久万高原町の鉱物、面河溪の観光開発史など多岐に渡る。面河溪に関する古い絵葉書や観光パンフレットの収集癖あり。情報求む。

山本貴仁
Takahito Yamamoto

特定非営利活動法人
西条自然学校 理事長
博物館学芸員を経て 2004 年に西条自然学校を設立し、西条市の石鎚山麓を拠点に野生生物の調査・保全・普及の活動を行う。近年、自然再生の観点から放置人工林の解消を目指し、鳥と風による自然林の再生を行っている。協力者募集中。

渡邊敬逸
Hiromasa Watanabe

愛媛大学地域共創研究センター兼任・
社会共創学部環境デザイン学科
兵庫県人と防災未来センターを経て 2015 年より現職。地理学を専門とし、農山村地域を対象とする各種研究に取り組む。現在は農山村地域における人口減少や石鎚山系のシカと社会とのかわりについて研究を行う。

主催：愛媛大学地域協働推進機構・地域共創研究センター 後援：愛媛大学社会共創学部
協賛：石鎚国定公園指定 70 周年記念